

民族解放戦争に連帯し帝国主義戦争に反対する社会主義の陣列を築こう

反戦斗争に決起せしむるべきである。

今の情勢は、世界的規模で、相対的安定期を終り、戦者の諸側面と革命の諸側面との両側面が、互に対立し、激化し、激化する激動の時代が始まりつつあります。

米帝を盟主とする西欧諸帝—米帝—日帝の西側帝国主義諸國は、一様に、世界恐慌から引き続く経済危機に打ちまひ、同様に社会主義を基とする帝国主義—ソ連社帝とその配下の東欧諸國も、至窮恐慌に打ちまひしている。

帝国主義諸國総体が、国内収奪とわが三世界被抑民族人民に対する他民族支配によって可能となしてきた、帝国主義的強蓄積の物的基礎そのものが、さはや、崩壊の危機に打ちまひしているのだ。

その故、米、ソを対米の中軸とする西側帝国主義陣営とソ連社帝陣営との間で、「平和共済」の外被、かなぐり捨てた、帝国主義相互の世界支配をめぐ

ぐる争奪戦が、歴史的に激化し、今や、他民族支配、世界支配をめぐる帝国主義世界大戦のたが、擴大している。

他方、帝国主義日帝反革命体制の不可救な一途を極める新植民地主義支配体制を覆がえす民族解放斗争の革命の途が、アジア—アメリカ—ラテンアメリカのオミ世界総体に吹き荒れ始めている。米帝のペーレ、五覇を先とする新植民地主義支配を粉碎し、イラン—革命の前進と、イラクの侵略戦争に対するイラン人民の革命の防犯戦争の発展、朝鮮人民の米、日両帝の主義の新植民地主義支配から自らを解放する反米、反日、反独裁の民主、統一革命の爆発的発展、更に、この革命の嵐は、帝口主義陣営の足元には、体制内部に確定に押しよせてあり、ポーランド労働者階級、人民は、ソ連社帝の配下で君臨する自国の国家官僚資本家階級の、社会主義的外被での階級支配を覆がえす、数十、数百万人規模での政治的闘いに決起し、革命の嵐は、世界の規模で発展している。

決起せしむるべきである。

この嵐の時代の始まりの中で、日本帝口主義は、米帝の体制

大阪市西成区萩 茶屋 2-5-23 TEL 632-4273
釜ヶ崎日雇労働組合

下、現在、鈴木政府を使って、対ソ

世界大戦の帝国内戦の準備に突

つ走しり、朝鮮の革命的危機の激化

を前に、対朝鮮侵略反革命戦争の準備

を急ピツクで進め、このことを、

米・日安保体制の再編を軸にし切

らんとしている。同時に、激動の

時代の始まりとともに、動搖が不可

避のブルジョア独裁権力の維持を、

憲法改正、刑法改正、保安法新設

諸反動立法策定、差別行動支配、社

会、排外主義の強化等々、政治反動の

一挙的攻撃を行なうんとしている。

米・日帝国主義は、帝国主義的危

機、唯一の運命としてのこの、帝国

主義戦争準備と政治反動攻撃を、相

対的安定期に高成し、生長させてき

た片竹貴族どもは、社民（民社・社会）

日共現代修正主義その社会的基盤で

ある片竹政権の上部部——を手先

利用するに、

現せんとしている。

社民潮流がエロムにふりまく、各種の「連合政府

構想」「自衛隊」「安保支持」の主張、日共現代修正主義

がふくまぐ、「民主連合政府」「愛国・民族の党」な

る主張、それらの社会的基盤としての片竹政権の石

要的再編攻撃、これを「左」がう補完する統一戦

政策、などは、すべて、米日帝国主義の片竹貴族を

手先利用しての、戦争準備と政治反動を推進する

階級政策に他ならない。

又起すた仲間の留士ン。

この様な情勢下、我々片竹者階級の行動スローガ

は、——民族解放斗争に連帯し、帝国主義戦争に

反対し、社会主義の勝利を築け。——で、なけれ

ばならない。

特に、日本帝国主義ブルジョア階級の生命線たる

朝鮮に於ける、南朝鮮人民の反帝・反独裁の民主

統一革命斗争に助固、連帯する階級的任務を果たさ

ねなければならない。

このことは、同時に、米帝の統制下、日本帝国

主義が押し進める戦争準備と政治反動攻撃の一切と

反対し、米日帝国主義の手先——片竹貴族どもを、

級斗争の全領域から一掃する、社会主義の階

級階級を築きあげることとして、自らの

階級的任務を果すに他ならない。

日本片竹者階級のその最下層に針が

にさしやる我々等、現日片竹者の片竹政

権は、このことを、片竹者階級としての

自らの解放事業として、必らず、実地的

に果たす決意です。

米日帝国主義の戦争準備と政治反動を

打ち破れ。

対帝戦の石要的再編を阻止せよ。

南朝鮮人民の反帝・反独裁民主化斗争

に固く連帯せよ。

米三里塚侵略空軍、新南西空軍を破れ。

米等七場解放斗争の前進を勝ち取れ。

米日共産党、山谷不当弾圧を許すな。

米米・日、「韓」一革命の体制を破れ。

米日共産党の斗争を破れ。